

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	かなゆめキッズま〜る		
○保護者評価実施期間	2026/2/26		2026/3/4
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2026/3/9		2026/3/13
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2026/3/13		2026/3/19
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026/4/26		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育所等訪問-児童発達支援、保育所等訪問-放課後等デイサービスと同事業所を利用している児童に関しては、児童の特性を理解した上で訪問時に先生へ情報共有ができる。	・活動中での集団遊び場面と園や学校での集団生活場면을職員間で共有して照らし合わせながら、児童により声掛けの工夫をしている。	・児童の特性を理解したうえで、集団生活をサポートできるような事業所内での支援の方向性や方針などを統一できるように意識していきたい。
2	・外部講師や支援員以外の職員などが訪問同行して、支援のポイントを知り、振り返りをする事で支援の質を高めることができている。	・訪問支援員一人の業務負担にならないよう、ミーティングなどで訪問した際の児童の様子や支援について共有する場を設けている。 ・多角的な視点で児童の支援ができるよう、外部講師の活用や多職種での訪問支援への同行を意識している。	・訪問した際の様子をアウトプットする場を継続して設け、客観的な評価をして支援していけるようにしたい。
3	・保護者や学校現場での困り感を個別支援計画書に盛り込み、支援ができている。	・学校現場での困り感を少しでも解消できるよう、訪問時に先生のお時間が許す限り情報共有の時間をもてるように意識している。	・今後も訪問に入る際に学校現場での困り感をヒアリングし、保護者のニーズに合わせて訪問をすすめていけるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育所等訪問支援の実施において、職員間での支援の進め方や手順の理解にばらつきがあり、支援の見通しをもちにくい場面がある。	・兼務しているため、保育所等訪問支援に関する経験の蓄積や共有の機会が十分とは言えず、支援の標準化や共通理解の形成に課題がある。	・事例検討や振り返りの機会を設け、経験の共有を図る。 ・職員間の情報共有を強化し、統一した支援が行える体制を整える。
2	・訪問先施設や保護者との情報共有する機会が少ない。	・訪問記録を作成することはできているが、リアルタイムで訪問先施設や保護者に発信できていない。	・訪問記録を残し、訪問先施設の先生や保護者と共有できるように日程調整・時間の確保をしていきたい。 ・連絡帳機能を活用し、支援した際の様子を共有していただけるようにする。
3	・モニタリング、会議実施の機会が十分に確保できておらず、支援内容の振り返りや共有の機会に課題がある。	・業務の日々の支援対応により、会議の時間調整が難しく、定期的な実施体制が十分に整っていない。	・短時間でも実施できる仕組み（ミニカンファレンス）を取り入れる。 ・記録様式を活用し、効率的に情報共有できる体制を整える。 ・必要に応じてオンライン等も活用し、実施しやすい環境を整える。